

『道徳教育方法研究』投稿規定

1. 内容

道徳教育方法に関する「研究論文」または「実践研究報告」で、未公開のものを本誌投稿原稿として受け付ける。

- ① 研究論文：文献や調査等にもとづく研究論文だけでなく、実践的研究であっても、その実践事例を踏まえ研究考察を加えて新しい知見が提案されていれば、研究論文として扱う。
- ② 実践研究報告：実践的研究として、先見性や斬新さがみられ、その実践から学ぶものがあれば、実践研究報告として扱う。

2. 応募資格

単著、共著にかかわらず、著者は本学会の会員でなければならない。

3. 執筆要領

- ① A4判用紙を使い、横書きの完成原稿とする。
- ② パソコン・ワープロ原稿とする。A4判用紙を使い、1頁38字×40行の設定とする。本文の他、図表・註などを含めて16,000字程度（10頁と20行程度）とし、本誌刷り上り11頁以内とする。
- ③ 原稿の後に、英文のタイトルとサマリー（5行程度）、およびキーワード（5語以内、日本語及び英語）をつける。
- ④ 審査の公平を期すため、次の点に留意すること。
 - ・原稿（英文タイトル等を含む）に、氏名・所属等を記入しない。
 - ・本文及び注に、「拙論」「拙著」「筆者の既発表論文」などの語句を用いたり、投稿者の氏名や所属を伏字にしたりするなど投稿者が判明するような表現を入れない。
- ⑤ 情報提供者を得て原稿を作成する場合には、あらかじめ当該者（ないしその保護責任者）に対して、研究目的などを十分に説明するとともに、掲載への同意・了解を得ておくこと。また、情報提供者（ないしその保護責任者）の名誉や社会的地位を損なわないよう十分に留意すること。
- ⑥ 原稿とは別に、タイトル（日本語及び英語）、「研究論文」または「実践研究報告」の区別、氏名、所属、連絡先（住所・郵便番号・電話番号、メールアドレス）を明記した別紙一枚を同封すること。

4. 投稿期限

投稿期限は各年度8月末日（当日消印有効）とする。

5. 送付先及び部数

投稿原稿（英文タイトル等を含む）を、正・副あわせて5部（副4部はコピーでも可）作成し、下記宛に送付すること。

〒651-2187 兵庫県神戸市西区学園東町9丁目-1

神戸市外国語大学 岡本研究室内 日本道徳教育方法学会事務局

6. 論文審査（研究論文・実践研究報告審査）

- ① 本学会編集委員会が査読者を定め、論文審査を行い、その結果に基づいて採用・不採用を決める。その際、次の3段階で判定する。
 - A：掲載可
 - B：修正の上、再査読の結果によって掲載の可否を決定
 - C：大幅な修正を必要とするので、不採用（次回に期待する）
- ② 「C」（不採用）となった場合には、その理由を含め、投稿者に通知する。
- ③ 「B」となった場合には、投稿者に修正意見を通知するので、投稿者はそれを踏まえて修正した上で再度提出し判定を受ける。なお、「A」（採用）となった場合でも、査読者からの意見を踏まえ、よりよい報告・論文となるよう修正等努力することが望ましい。
- ④ 審査結果及び修正意見等に関する問い合わせは、編集委員会において受け付ける。
- ⑤ 投稿された原稿は返却しない。

7. 著作権等の取り扱い

『道徳教育方法研究』の編集著作権は本学会が有し、掲載された「研究論文」「実践研究報告」の著作権は著作者が有する。ただし、著作者自身が自己の著作物を利用する場合には、本学会の許諾を必要としない。

8. 電子公開

「研究論文」又は「実践研究報告」に投稿する者は、掲載された「研究論文」又は「実践研究報告」が電子公開されることを了承した上で投稿するものとする。なお、掲載論文の電子公開は当該掲載論文が掲載された学会誌の刊行1年後とする。

9. その他

掲載料は当分のあいだ徴収しない。